

平成 17 年度
紋別市における景気動向調査
＜第Ⅱ四半期＞

報 告 書

紋 別 商 工 会 議 所

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 17 年 10 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 17 年 7 月～9 月期の実績および平成 17 年 10 月～12 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業＋食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業＋諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業＋食品業部会	30 社	20 社	66.7%
水産業部会	30 社	23 社	76.7%
機械工業部会	30 社	21 社	70.0%
建設業部会	30 社	20 社	66.7%
観光・サービス業＋諸業部会	30 社	17 社	56.7%
合 計	150 社	101 件	67.3%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

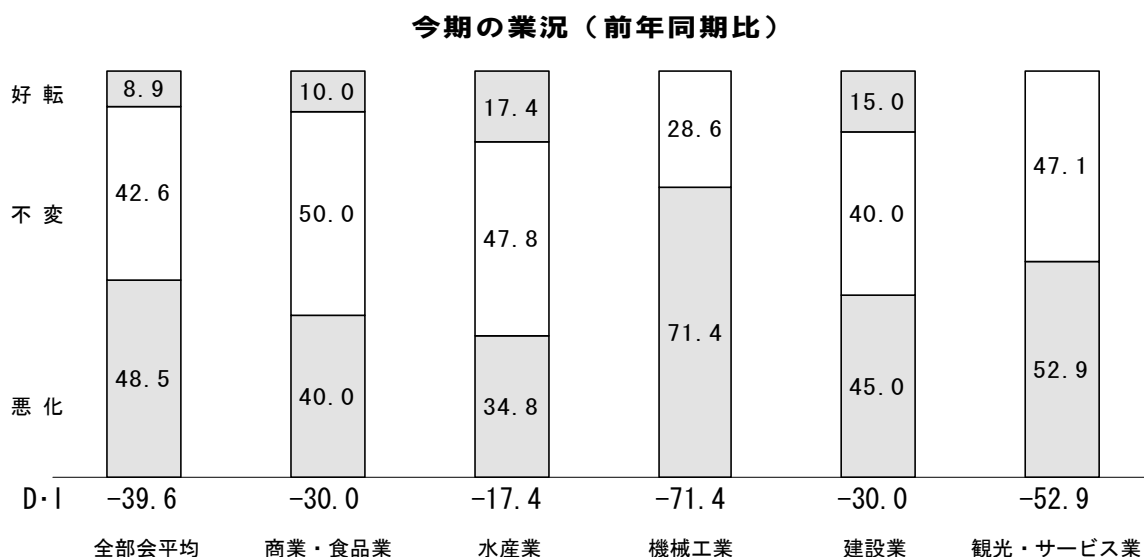
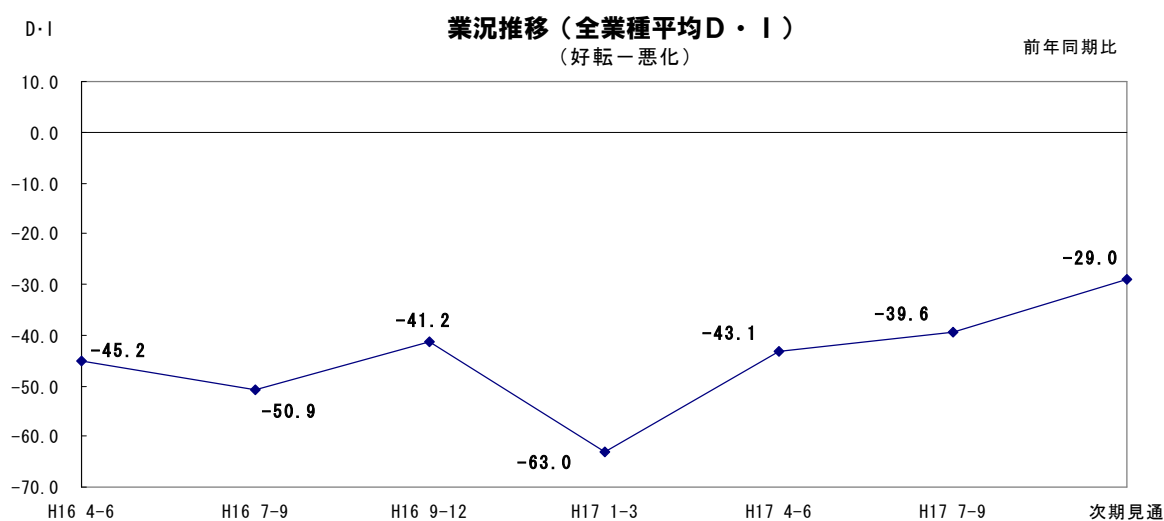
Ⅱ. 概況

—依然低水準ながらも業況は緩やかに改善—

1. 全体の動き(業況)

本調査による今期の業況判断D・I値は、全業種平均で前年同期比では△39.6と、前回調査時の△43.1より3.5ポイント、2期連続で緩やかにマイナス幅を縮小していますが、依然低い水準で推移しています。

業種別D・I値では、前年同期比で商業・食品業〔前期△64.7→今期△30.0〕、水産業〔前期△39.1→今期△17.4〕、機械工業〔前期△40.0→今期△71.4〕、建設業〔前期△10.0→今期△30.0〕、観光・サービス・諸業〔前期△63.7→今期△52.9〕となり、商業・食品業部会と水産業部会では数値が大幅に改善しましたが、逆に機械工業部会は31.4ポイント悪化しています。



業況悪化の要因としては、依然として得意先(客足)の減少による売上の不振を訴える声が全業種で大きなウェイトを占めていますが、今期はそれに加えて、全業種において石油製品の値上がりによる諸経費負担増が経営を圧迫している、との問題点が挙げられています。

次期の見通しは、業況・売上の両D・Iとも今期より好転するとの期待が寄せられており、特に売上高・生産高D・Iは年末商戦への期待も込められ、今期よりも16.5ポイント大幅に改善する見通しとの声が寄せられています。また、資金繰りD・Iは、ほぼ横ばいを予想する企業が多い中、水産業部会は唯一、今期よりも好転する見込みとのコメントを寄せています。

■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況D・I値（前年同期比） $\Delta 30.0$ （前期 $\Delta 64.7$ 、来期見通し $\Delta 30.0$ ）〕

業況D・I値（前年同期比）は、2期連続で大幅にマイナス幅を縮小した。これはH16第4四半期と比較すると63.8ポイントもの大幅な改善となったが、次期見通しは本期よりも若干悪化するとの慎重なコメントが寄せられている。

経営上の問題点としては依然として「売上の不振」「得意先（客足）減少」を訴える企業が多く、各個店の自助努力とともに中心部市街地対策を求める声が多く寄せられている。

《業界の問題点等》

- ・空き店舗対策を早急に行うべき。商業ゾーンの構築を切望する。（小売）
- ・問題点は中心商店街の空洞化、駐車場不足による客足の減少、大型量販店への流出。（小売）
- ・本町通りにシャッターの閉まっている店が多くイメージが悪い。客足減少につながる。空き店舗でもシャッターを上げて貸店舗表示を貼った方がシャッターを閉めているよりイメージが良いのでは？（小売）
- ・今年は全体として良くない。私個人としては、全体を見る事、経費・時間の無駄をなくして各企業の足固めをする事、そして計画を頼りにし営業に活かしていく事が大切だと思う。そしてまずは前に進む事、やってみる事、それからです。（小売）
- ・売上単価の減。地元の商店企業が近々なくなるのでは？ 努力している、していないという問題ではない。（小売）
- ・売上も減少していますが、経費も抑えているので変化はありません。業界は全般的に不振です。苦しんでいるのは自分だけではないと思えば、もう少し頑張ってみようという気持ちになります。（製造小売）

【水産業部会】〔業況D・I値（前年同期比） $\Delta 17.4$ （前期 $\Delta 39.1$ 、来期見通し $\Delta 13.0$ ）〕

業況D・I値（前年同期比）は前期より21.7ポイントマイナス幅を縮小した。依然マイナス値ながらも他の業種に比べ堅調であり、次期の見通しにおいても本期より若干回復するとの声が寄せられており期待される。

売上D・I値（前年同期比）は全業種の中で唯一減少と増加が同数の0.0ポイントとなり、基幹産業として市内景気の牽引役が期待される。

《業界の問題点等》

- ・原料の不足・油の高騰（水産加工）
- ・原料不足（水産加工）
- ・①11・12・1・2・3・4月の仕事が年々減少してきた。（1次加工～2次加工への脱皮・移行）
- ・②石油の値上がりによるコスト上昇が気掛かりである。（水産加工）

【機械・工業部会】〔業況D・I値（前年同期比） $\Delta 71.4$ （前期 $\Delta 40.0$ 、来期見通し $\Delta 40.0$ ）〕

業況D・I値（前年同期比）は前期より31.4ポイント大幅に悪化した。前年同期比と比較して「好転した」との声は聞かれなく、5部会の中で最も厳しい今期の状況が伺える。

経営上の問題点としては依然として「売上の不振」「得意先（客足）減少」を訴える企業が多く、売上D・I値（前年同期比）は $\Delta 85.7$ となった。

《業界の問題点等》

- ・組合経営が厳しい

【建設業部会】 [業況D・I値(前年同期比)△30.0(前期△10.0、来期見通し△30.0)]

業況D・I値(前年同期比)は前期より20.0ポイント悪化した。前期には△10.0と回復基調が見られていたが、若干後退した感がある。来期は今期よりも若干下回るとの見通し。

経営上の問題点としては依然として工事量の減少から「売上の不振」「得意先(客足)減少」を訴える声が多いが、他の業種と比較すると特に「同業者間の競争」を訴える企業が多い。

《業界の問題点等》

- ・ 公共工事の減少(建設)
- ・ 景気の好転が見えず、顧客が住宅ローンの返済に不安を感じている。(建設)
- ・ 市外での仕事が多い為、交通(ガソリン)等の経費、その他に利益が取られ利益が薄い。(電気工事)

【観光・サービス部会】 [業況D・I値(前年同期比)△52.9(前期△63.7、来期見通し△35.3)]

業況D・I値(前年同期比)は前期より10.8ポイントマイナス幅を縮小し、2期連続で好転してはいるが、業況は依然厳しい状況で推移している。

経営上の問題点としては依然として「売上の不振」「得意先(客足)減少」、さらに「諸経費の負担増」を訴える企業が多く、道都大学の撤退や高齢化による若年購買層の減少が経営に影響を与えている。売上D・I値(前年同期比)は△82.4と、機械工業に次ぐマイナスとなった。

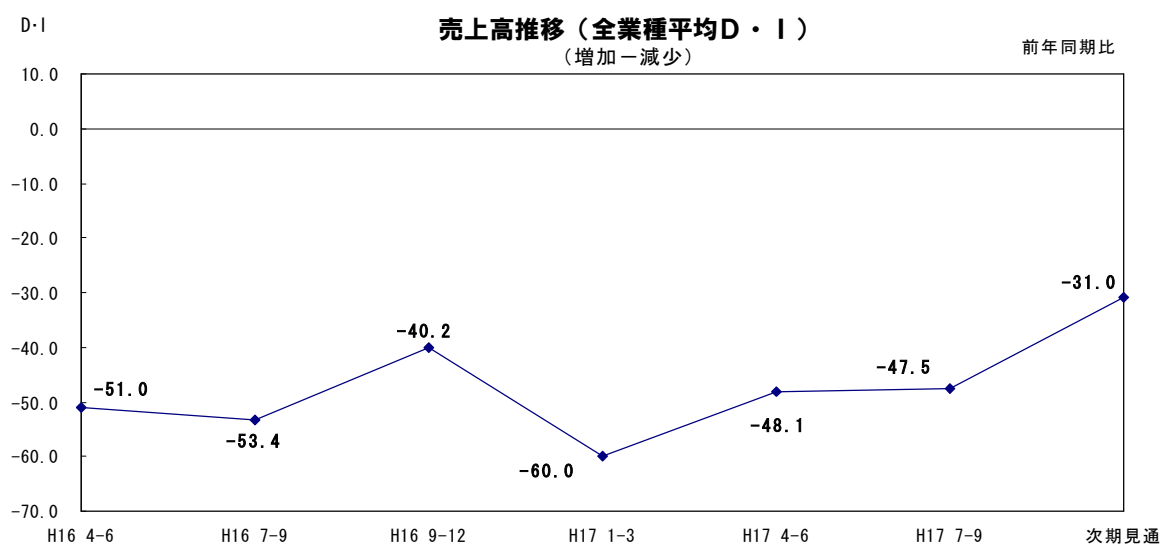
《業界の問題点等》

- ・ 仕入れの値上がり。(飲食店)
- ・ 道都大の撤退により若者が減り、全体的に活気がない。(飲食店)
- ・ 高齢化によるお客様の減少(美容)
- ・ 観光サービスの目玉なし。イベント等の効果ゼロ。(飲食店)
- ・ 客足の減少が続き打つ手がない状況。しかし諦めずに努力し、英知工夫を重ね好転を待つ。(交通)
- ・ 人口の減少、景気の悪化、高齢化による顧客の減少、新規の顧客がなかなかつかない。それに石油製品が値上がりするなど、良い話を聞くことがない。(クリーニング)

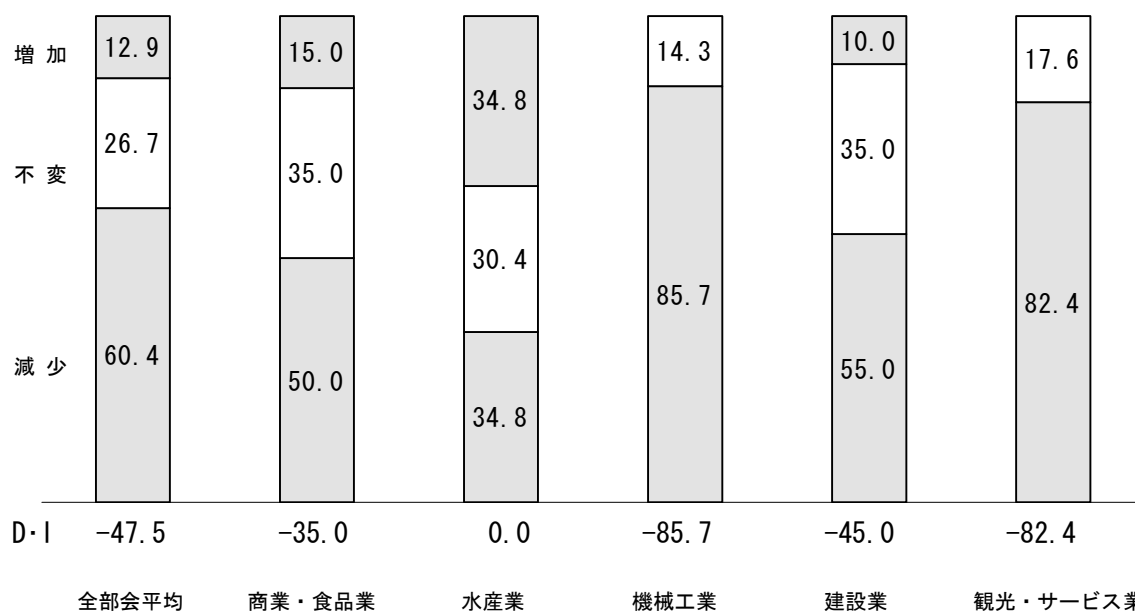
2. 今期の業況

(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成16年7～9月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高・生産高（前年同期比）

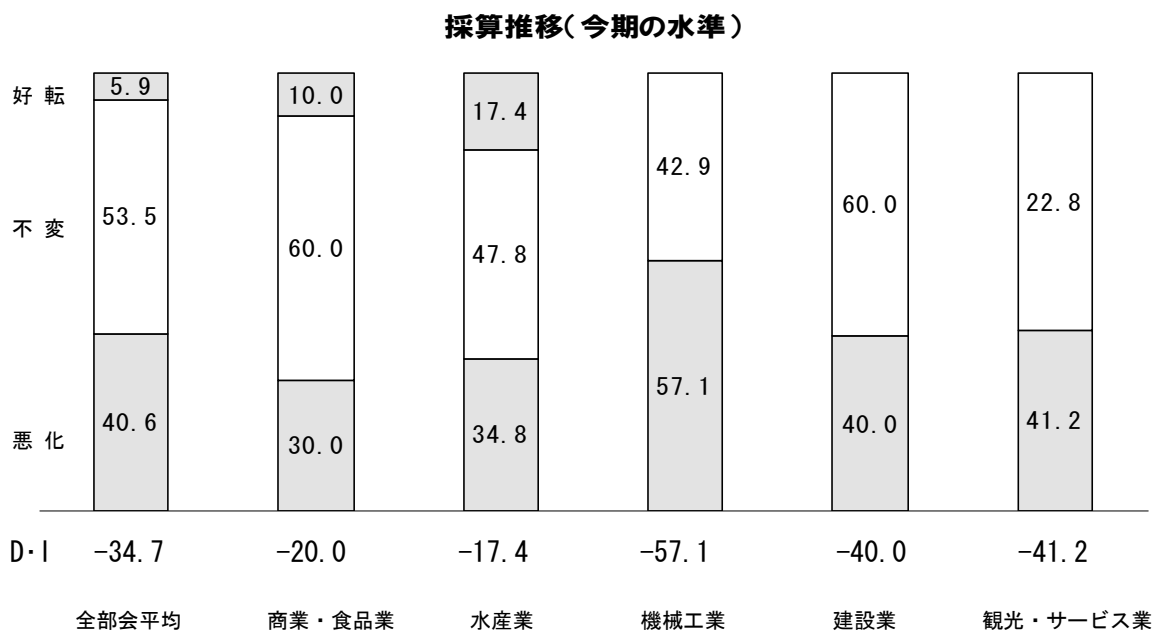
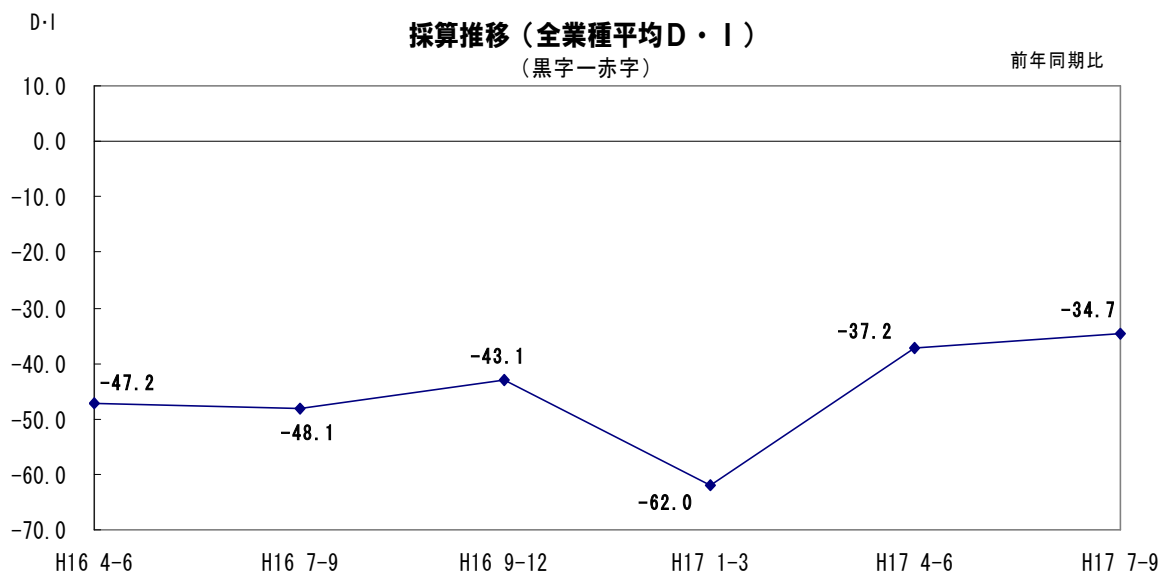


全業種平均でD・I値△47.5〔前回調査時（平成17年4～6月期△48.1）より0.6ポイントマイナス幅を縮小〕。

〔部会別D・I値〕 商業・食品業〔前回△70.6→△35.0〕、水産業〔前回△30.4→0.0〕
機械工業〔前回△50.0→△85.7〕、建設業〔前回△20.0→△45.0〕
観光・サービス業〔前回△72.8→△82.4〕

(2) 今期の採算

【前年同期比】（平成 16 年 7～9 月期の水準と比較した今期の採算水準）

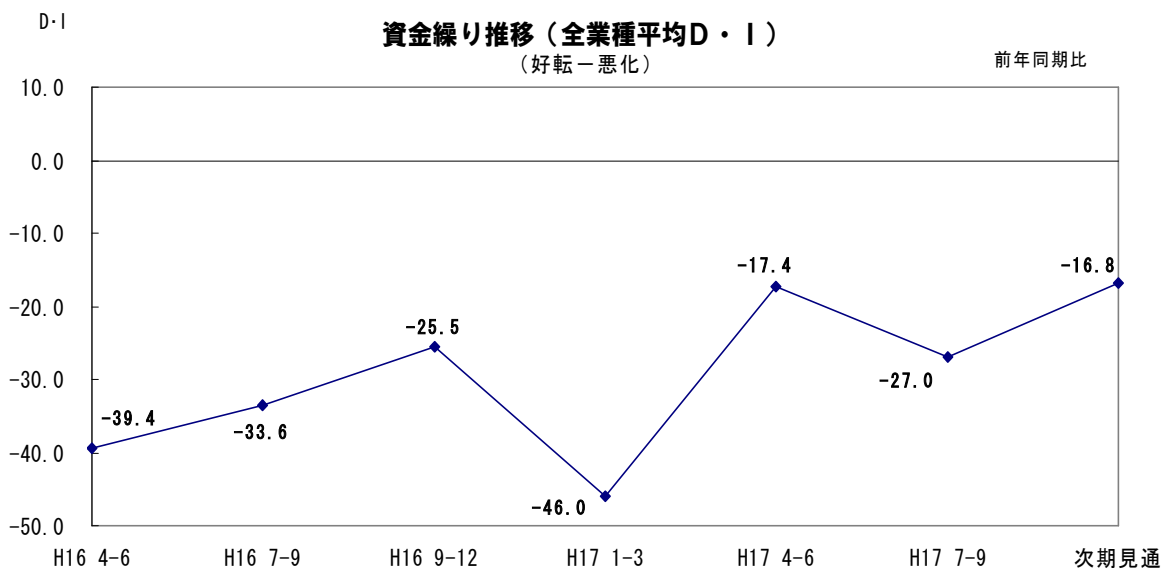


全業種平均で D・I 値△34.7〔前回調査時（平成 17 年 4～6 月期△37.2）より 2.5 ポイントマイナス幅を縮小〕。

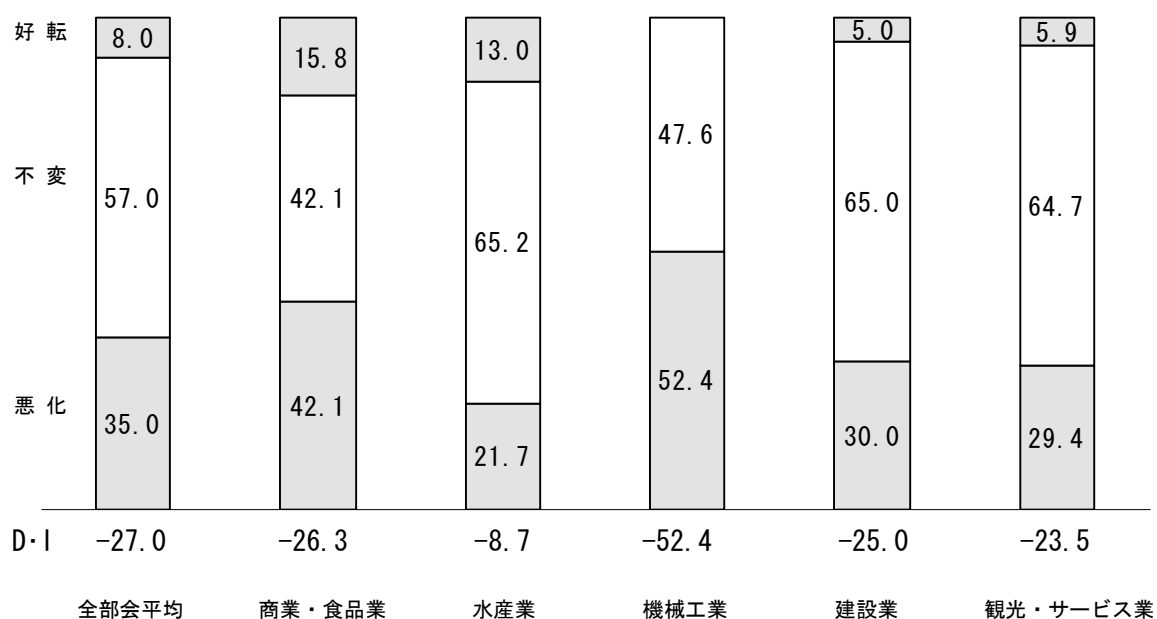
〔部会別 D・I 値〕 商業・食品業〔前回△58.8→△20.0〕、水産業〔前回△30.5→△17.4〕
 機械工業〔前回△30.0→△57.1〕、建設業〔前回△35.0→△40.0〕
 観光・サービス業〔前回△68.2→△41.2〕

(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成16年7～9月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



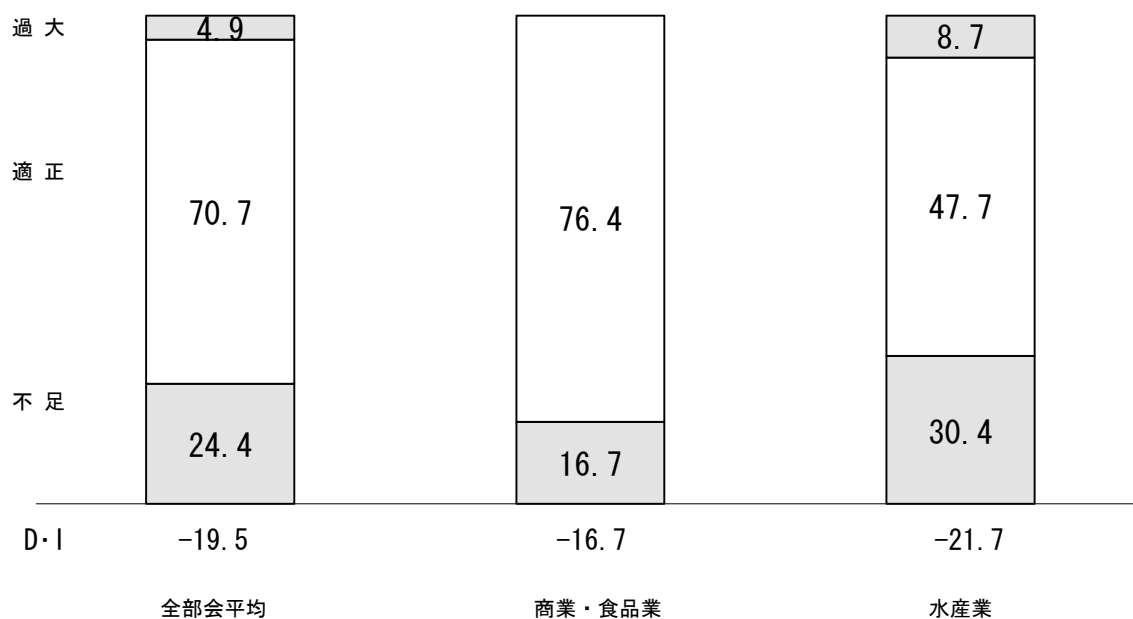
全業種平均でD・I値△27.0〔前回調査時（平成17年4～6月期△17.4）より9.6ポイントマイナス幅が拡大〕。

【部会別D・I値】 商業・食品業〔前回△52.9→△26.3〕、水産業〔前回△21.8→△8.7〕
 機械工業〔前回△15.0→△52.4〕、建設業〔前回△30.0→△25.0〕
 観光・サービス業〔前回△54.6→△23.5〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成 16 年 4～6 月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



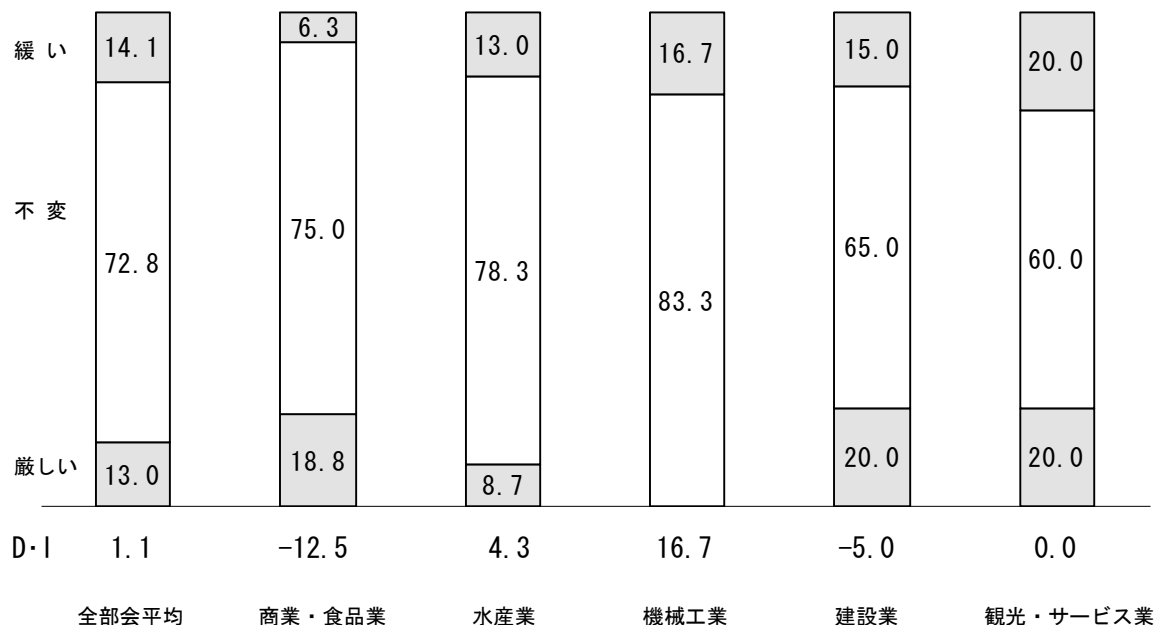
全業種平均でD・I値 Δ 19.5〔前回調査時（平成 17 年 4～6 月期 Δ 31.0）より 11.5 ポイントマイナス幅を縮小〕。

〔部会別D・I値〕 商業・食品業〔前回 0.0 \rightarrow Δ 16.7〕、水産業〔前回 Δ 14.3 \rightarrow Δ 21.7〕

(5) 今期の金融機関の貸出状況

【前年同期比】（平成16年7～9月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

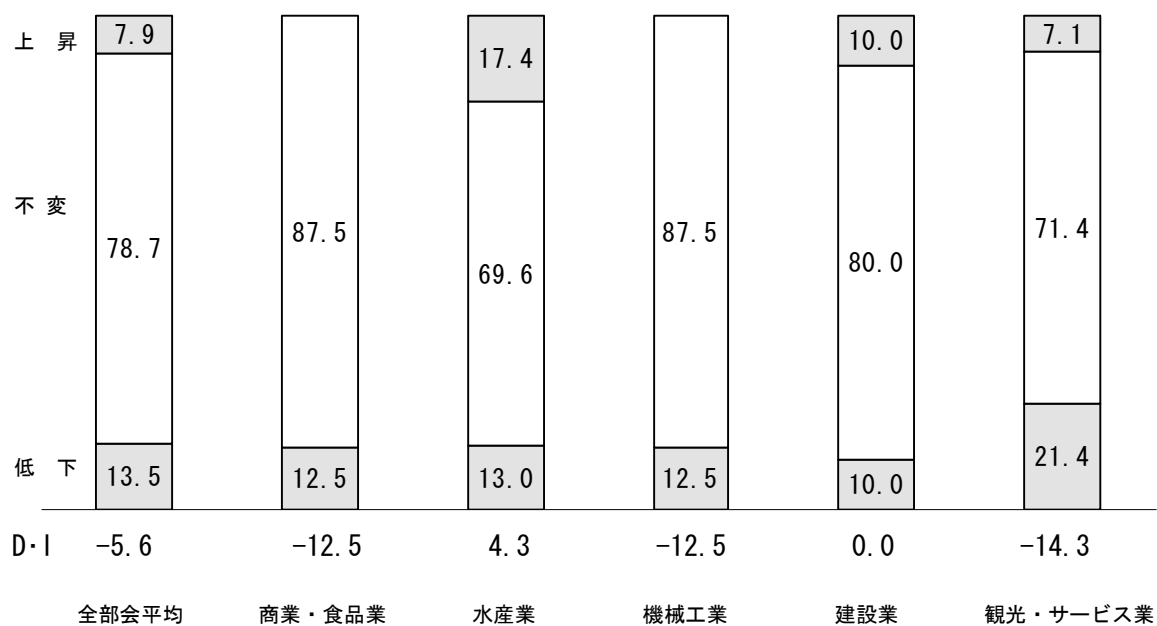
今期の金融機関の貸出状況



(6) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（平成16年7～9月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

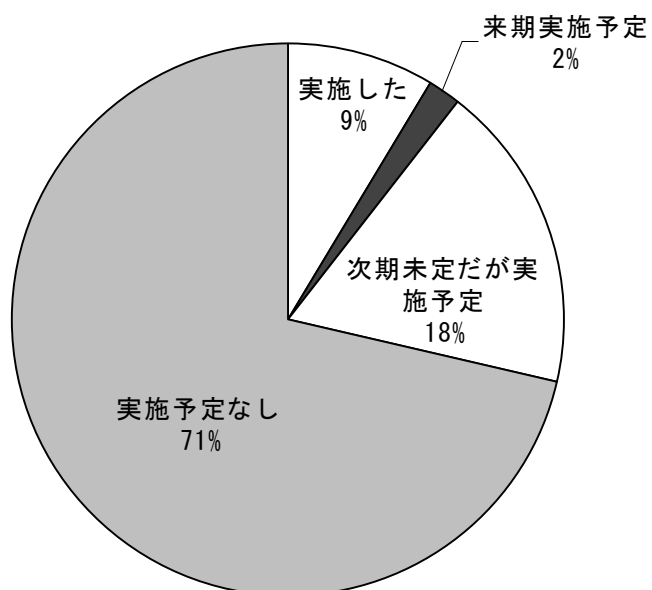
今期の借入金の金利水準



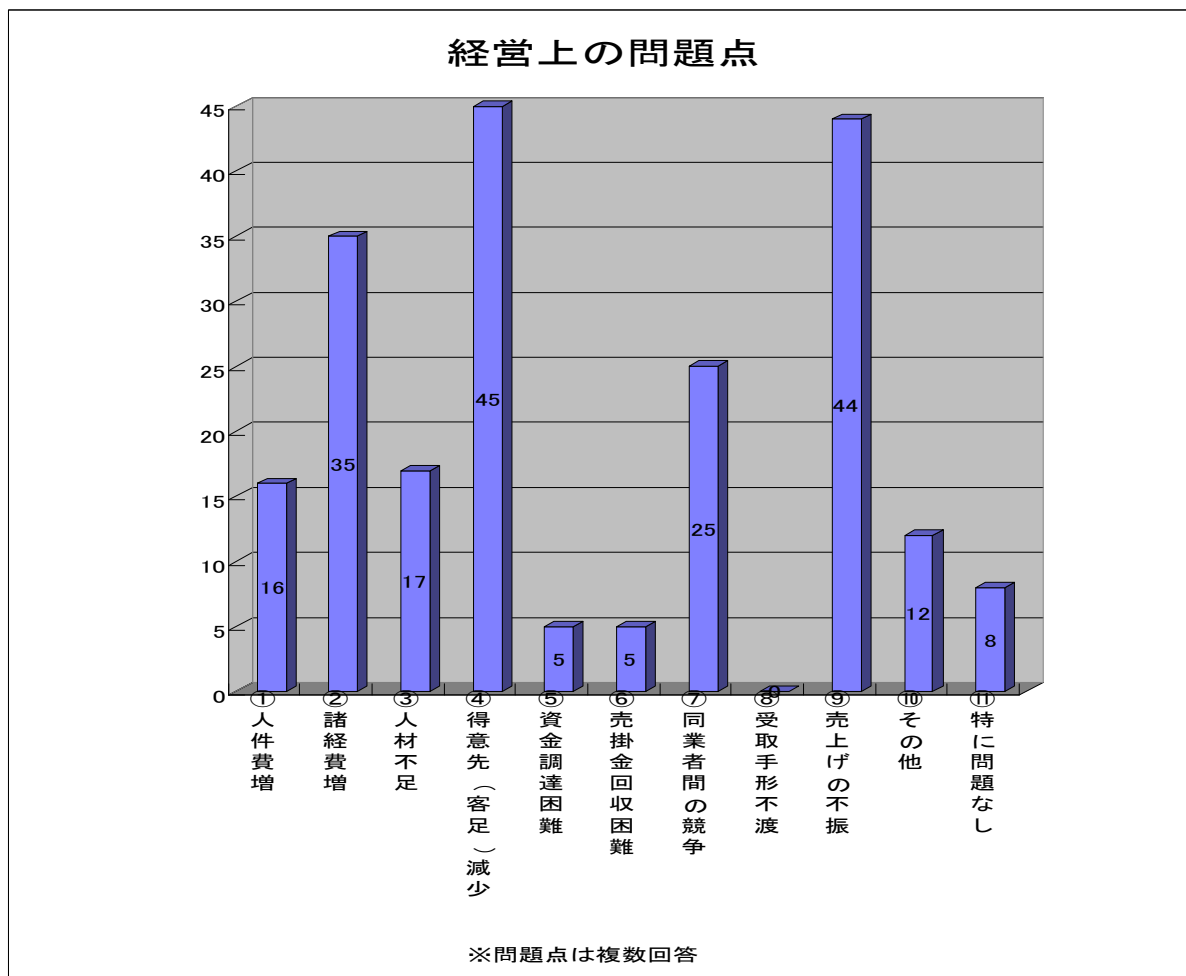
(7) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

設備投資の実施状況



(8) 今期の経営上の問題点（複数回答）



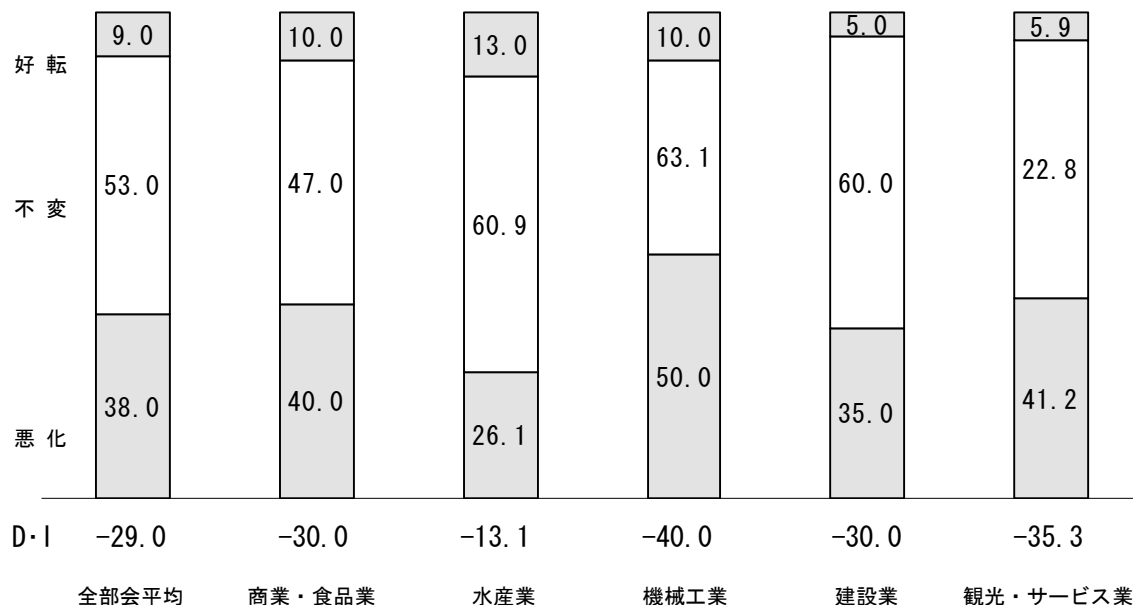
全 体	「得意先(客足)減少」(45ポイント) [前回 48ポイント] 「売上の不振」(44ポイント) [前回 47ポイント] 「諸経費の増加」(35ポイント) [前回 27ポイント]
商業・食品業部会	「得意先(客足)減少」(14ポイント) [前回 12ポイント] 「売上の不振」(12ポイント) [前回 10ポイント] 「諸経費増」(5ポイント) [前回 1ポイント]
水産業部会	「諸経費増」(13ポイント) [前回 8ポイント] 「人件費増」(8ポイント) [前回 7ポイント] 「その他」(7ポイント) [前回 2ポイント]
機械工業部会	「売上の不振」(10ポイント) [前回 8ポイント] 「得意先(客足)減少」(7ポイント) [前回 10ポイント] 「諸経費の増加」(4ポイント) [前回 4ポイント]
建設業部会	「同業者間の競争」(11ポイント) [前回 11ポイント] 「売上の不振」(11ポイント) [前回 8ポイント] 「得意先(客足)減少」(10ポイント) [前回 10ポイント]
観光サービス・諸業部会	「得意先(客足)減少」(11ポイント) [前回 17ポイント] 「売上の不振」(7ポイント) [前回 13ポイント] 「諸経費増」(6ポイント) [前回 8ポイント]

3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】（平成 17 年 7～9 月期の水準と比較した来期の業況見通し）

次期の業況見通し（今期比）

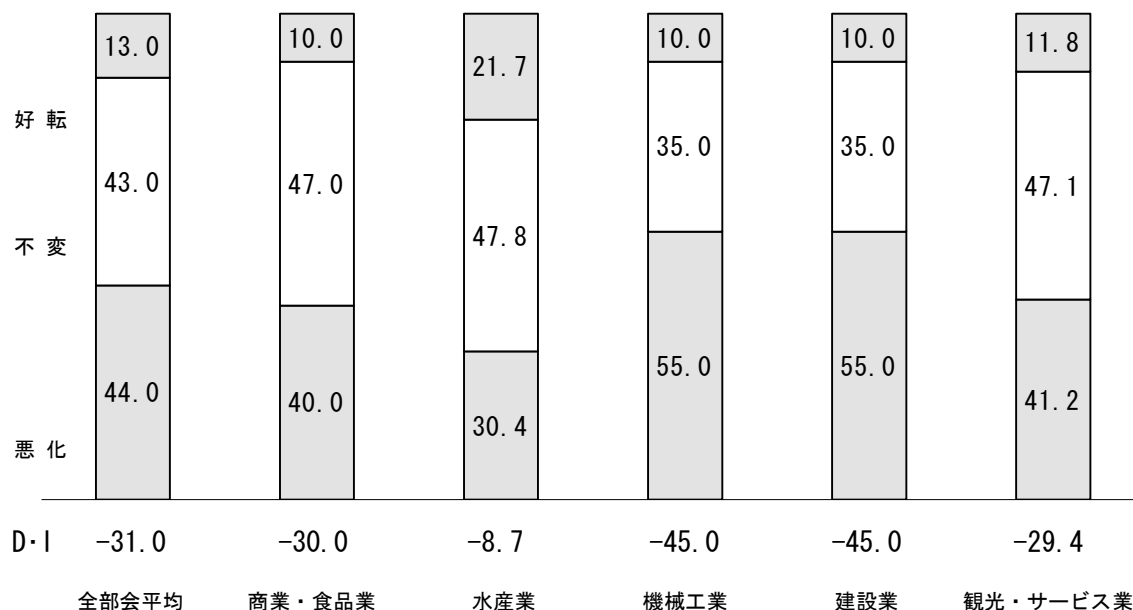


全業種平均でD・I値△29.0〔今期の業況（前年同期比△39.6）より10.6ポイント改善の見通し〕

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 17 年 7～9 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

次期の売上高・生産高見通し（今期比）

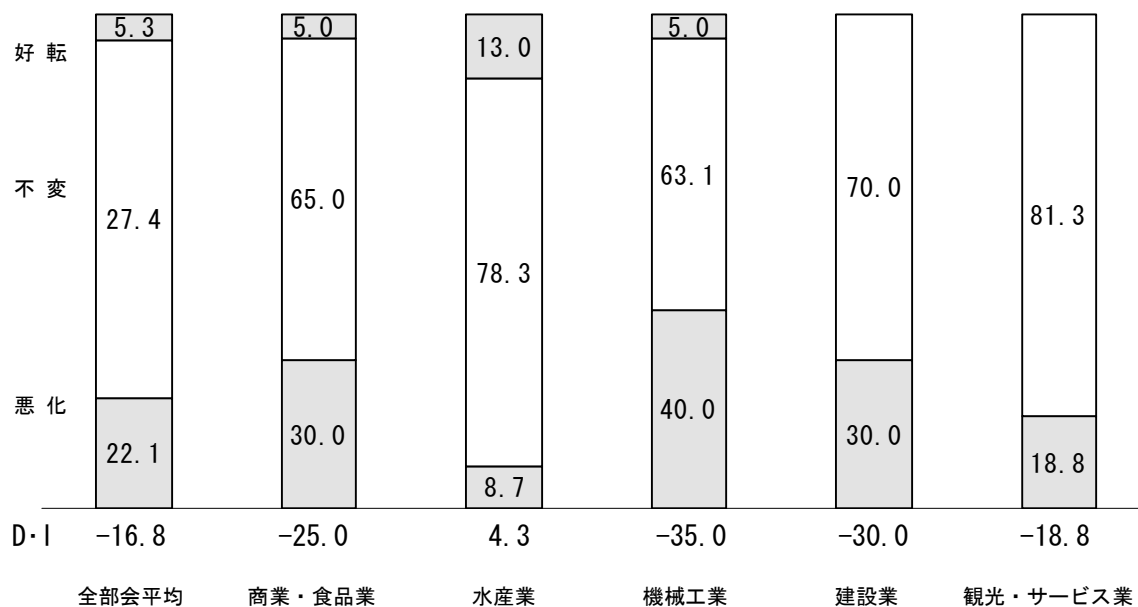


全業種平均でD・I値△31.0〔今期の売上高・生産高（前年同期比△47.5）より16.5ポイント改善の見通し〕

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成17年7～9月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均でD・I値△16.8〔今期の資金繰り（前年同期比△27.0）より10.2ポイント改善の見通し〕

4. 各指標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス ・ 諸 業
業 況 判 断 D・I	今 期 実 績	△ 3 9 . 6	△ 3 0 . 0	△ 1 7 . 4	△ 7 1 . 4	△ 3 0 . 0	△ 5 2 . 9
	来 期 見 通 し	△ 2 9 . 0	△ 3 0 . 0	△ 1 3 . 0	△ 4 0 . 0	△ 3 0 . 0	△ 3 5 . 3
売 上 D・I	今 期 実 績	△ 4 7 . 5	△ 3 5 . 0	0 . 0	△ 8 5 . 7	△ 4 5 . 0	△ 8 2 . 4
	来 期 見 通 し	△ 3 1 . 0	△ 3 0 . 0	△ 8 . 7	△ 4 5 . 0	△ 4 5 . 0	△ 2 9 . 4
在 庫 D・I	今 期 実 績	△ 1 9 . 5	△ 1 6 . 7	△ 2 1 . 7	—	—	—
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今 期 実 績	△ 3 4 . 7	△ 2 0 . 0	△ 1 7 . 4	△ 5 7 . 1	△ 4 0 . 0	△ 4 1 . 2
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—
資 金 繰 り D・I	今 期 実 績	△ 2 7 . 0	△ 2 6 . 3	△ 8 . 7	△ 5 2 . 4	△ 2 5 . 0	△ 2 3 . 5
	来 期 見 通 し	△ 1 6 . 8	△ 2 5 . 0	4 . 3	△ 3 5 . 0	△ 3 0 . 0	△ 1 8 . 8
金 融 機 関 貸 出 状 況 D・I	今 期 実 績	1 . 1	△ 1 2 . 5	4 . 3	1 6 . 7	△ 5 . 0	0 . 0
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—
借 入 金 金 利 水 準 D・I	今 期 実 績	△ 5 . 6	△ 1 2 . 5	4 . 3	△ 1 2 . 5	0 . 0	△ 1 4 . 3
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—